

## 平成 27 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における 大阪市立横堤中学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成 27 年 4 月から 7 月末までの期間に、2 年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

### 1 調査の目的

- (1) 子供の体力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第 2 学年、中等教育学校第 2 学年、特別支援学校中学部第 2 学年の原則として全生徒
- ・大阪市立横堤中学校では、2 年生 168 名

### 3 調査内容

#### (1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）  
中学校調査では、以下の種目を実施する。

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20m シャトルラン、  
50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か 20m シャトルランのどちらかを選択）

#### イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童・生徒質問紙調査」という。）  
を実施する。

# 平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立横堤中学校

生徒数

168

## 平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	30.11	28.61	38.98	50.23		85.31	8.05	190.48	19.90	40.48
大阪市	29.04	27.17	41.05	51.03	406.99	83.23	8.13	189.56	20.23	40.62
全国	28.93	27.43	43.08	51.62	392.63	85.56	8.01	194.05	20.65	41.89
女子	25.36	22.09	47.00	44.03		58.30	9.20	166.60	11.26	47.04
大阪市	23.89	22.98	44.11	45.89	304.14	57.34	8.99	166.02	12.84	48.12
全国	23.68	23.26	45.53	46.09	290.03	58.06	8.84	167.28	12.83	49.08

## 結果の概要

男女とも、体力合計点で全国平均を下回り、男子では1.41点下回り、女子では2.04点下回った。種目別で見ると、男子では握力・上体起こしの2種目、女子では握力・長座体前屈・20mシャトルランの3種目で全国平均を上回った。

また、前年度の本校の結果と比較すると、男子では体力合計点で2.72点下回り、種目別では上体起こし、立ち幅とびの2種目で上回ったが、残りの6種目で下回った。女子では体力合計点で2.43点下回り、種目別では長座体前屈・20mシャトルラン・立ち幅跳びの3種目で上回ったが、残りの5種目で下回った。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

ここ2年間で男女とも全国平均を下回った「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」を向上させるため、補強運動の際に跳躍力や瞬発力をつけるトレーニングを取り入れた結果、「立ち幅とび」は昨年度の本校の平均を上回ることができ、全国平均にも少し近づいてきた。来年度は跳躍力や瞬発力をつけるトレーニングを継続して行うとともに、基礎的な体力づくりを補強運動や体づくり運動の単元の中でもさらに取り組んでいく。

また、運動に対する興味・関心を高めるために、昨年度に引き続きトップアスリートを招いての体験授業や大学教授を招いての部活動指導に今年度も取り組んだ。さらに、ダンス講師を招いて専門的な技能や体を動かす楽しさを学ぶ機会を増やすことができた。

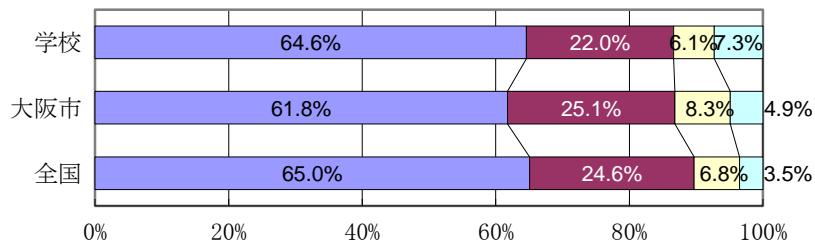
運動に対する生徒の意識は全国平均と比べて低い数値であるため、来年度もトップアスリートや専門的な指導者から学ぶ取組を継続し、運動への学習意欲を高めるとともに、将来に夢や希望を持てる生徒の育成に努める。

## 運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

1

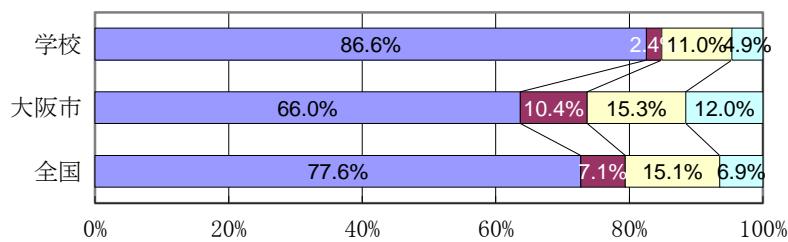
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



□好き  
■やや好き  
□やややきらい  
□きらい

5

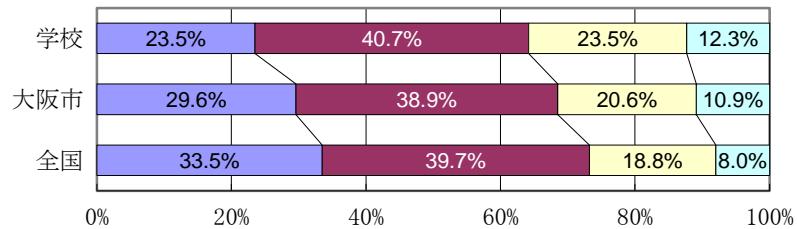
学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか



□運動部  
■文化部  
□地域スポーツ  
□所属していない

2

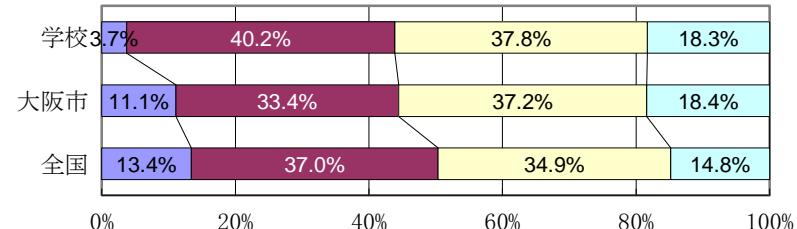
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか



□得意  
■やや得意  
□ややや苦手  
□苦手

3

自分の体力に自信がありますか



□自信がある  
■やや自信がある  
□あまり自信がない  
□自信がない

### 成果と課題

○学校の運動部活動や地域のスポーツクラブに所属していると答えた生徒が86.6%と全国平均を9.0%上回り、これまで生徒の運動やスポーツに関わるための工夫に取り組んできた成果がうかがえる。しかし、運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と答えた生徒が86.6%と全国平均を3.0%下回った。また、自分の体力に自信が「ある」「ややある」と答えた生徒が43.9%と全国平均を6.5%、運動やスポーツをすることが「得意」「やや得意」と答えた生徒が64.2%と全国平均を9.0%下回り、体力・運動に自信のない生徒が全国平均に比べ多いことが課題としてあげられる。

### 今後の取組

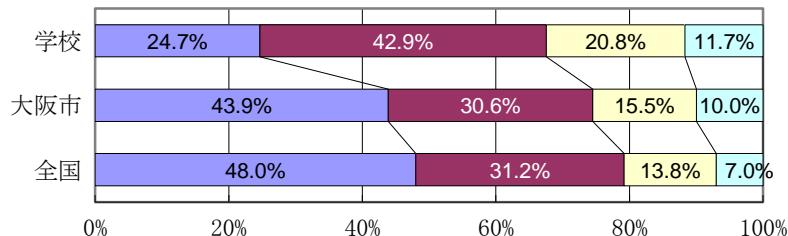
○運動、スポーツをすることが「好き」「得意」と答える生徒、体力に「自信がある」「やや自信がある」と答える生徒が増えるように、生徒の関心・意欲を高める授業内容、展開の工夫を図っていく。  
○運動会だけでなく、スポーツ大会や球技大会などの体育的行事に生徒自らが自主的、意欲的に取り組める活動を工夫していく。

## 運動やスポーツについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------

1

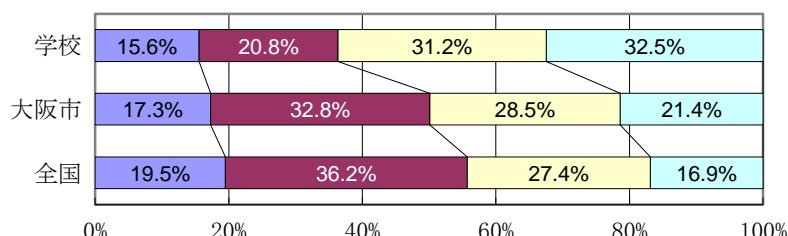
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



- 好き
- やや好き
- ややきらい
- きらい

2

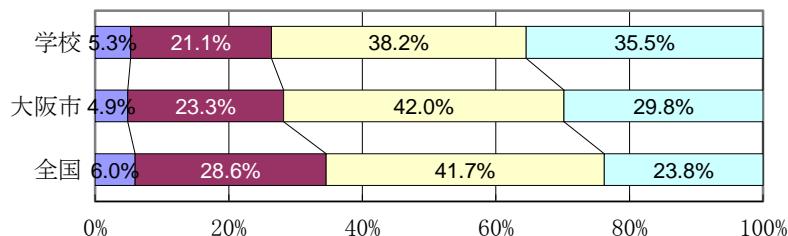
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか



- 得意
- やや得意
- やや苦手
- 苦手

3

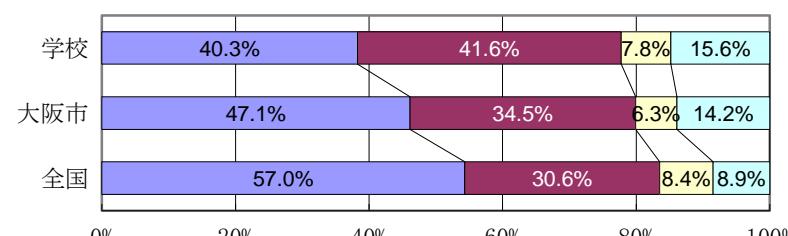
自分の体力に自信がありますか



- 自信がある
- やや自信がある
- あまり自信がない
- 自信がない

5

学校の運動部や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるもの全て選んでください。



- 運動部
- 文化部
- 地域のスポーツクラブ
- 所属していない

### 成果と課題

○文化部に所属していると答えた生徒が全国平均を11.0%上回っている。しかし、学校の運動部活動や地域のスポーツクラブに所属していると答えた生徒が47.8%と全国平均を17.6%下回った。運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と答えた生徒が67.6%と全国平均を11.6%下回り、自分の体力に自信が「ある」「ややある」と答えた生徒が26.4%と全国平均を8.2%、運動やスポーツをすることが「得意」「やや得意」と答えた生徒が36.4%と全国平均を19.3%下回り、体力・運動に自信のない生徒が全国平均に比べ多いことが課題としてあげられる。

### 今後の取組

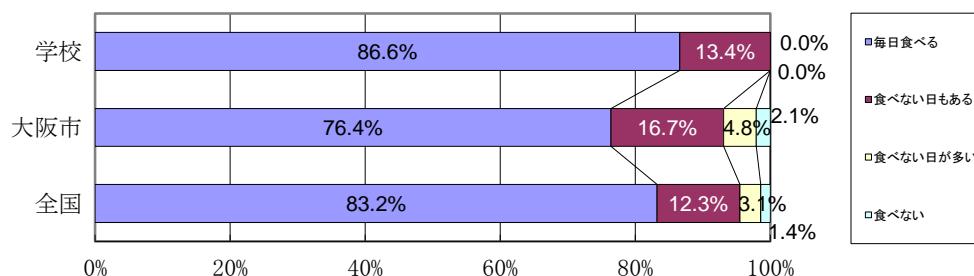
○運動、スポーツをすることが「好き」「得意」と答える生徒、体力に「自信がある」「やや自信がある」と答える生徒が増えるように、生徒の関心・意欲を高める授業内容、展開の工夫を図っていく。  
 ○運動会だけでなく、スポーツ大会や球技大会などの体育的行事に生徒自らが自主的、意欲的に取り組める活動を工夫していく。

## ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

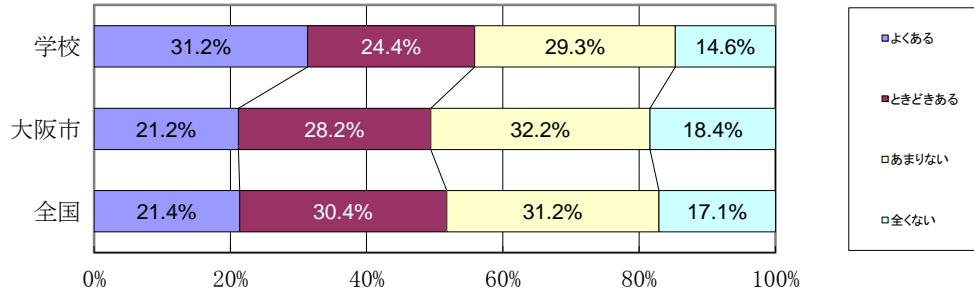
8

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



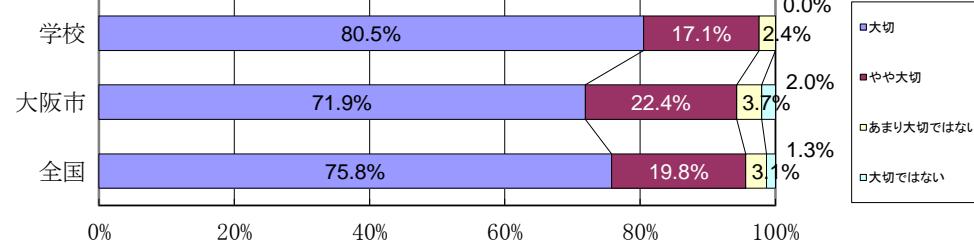
15

家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことを勧められることがありますか



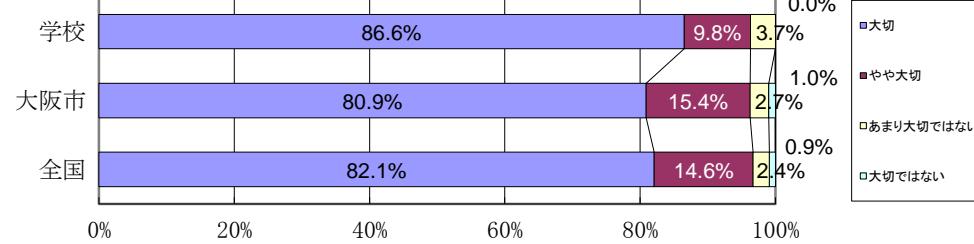
19-1

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



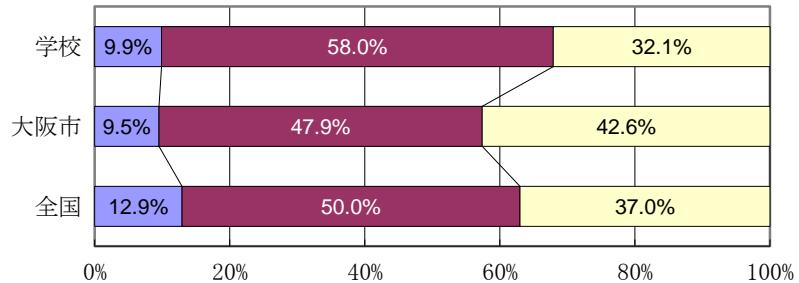
19-3

あなたが健康でいるためによくねることはどのくらい大切だと考えていますか。



11

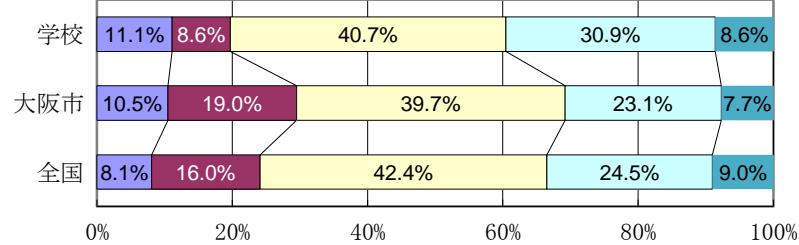
寝る時間は決まっていますか。



毎日決まった時間にねる  
ほぼ決まった時間にねる  
日々によってねる時間が異なる  
□

13

ふだんの平日(月一金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をしますか



5時間以上  
3時間以上5時間未満  
1時間以上3時間未満  
1時間未満  
全くしない

### 成果と課題

○家人の人から運動やスポーツを積極的に行うことを勧められることが「よくある」と答えた生徒が31.2%と全国平均を9.8%上回り、保護者の意識も全国に比べて高いことがうかがわれる。さらに、健康でいるために「運動は大切」と答えた生徒が80.5%と全国平均を4.7%、「よく寝ることは大切」と答えた生徒が86.6%と全国平均を4.5%上回り、健康に対する意識は高い数値であった。しかし、テレビゲームやスマートフォンを使ったゲームを「5時間以上」すると答えた生徒が11.1%と全国平均を3.0%上回り、運動よりもゲームに時間を費やす生徒が多いことが課題としてあげられる。

### 今後の取組

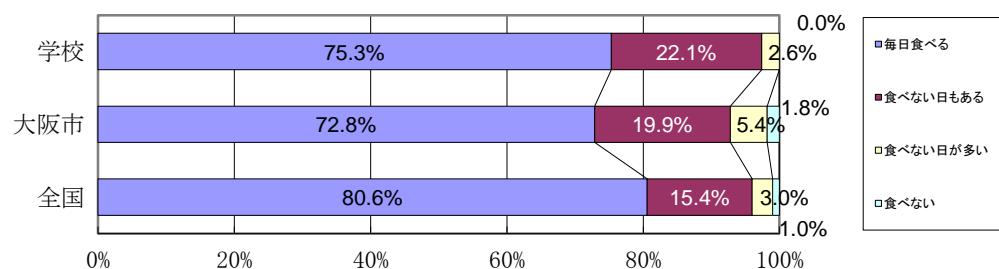
○生徒会活動を中心に生徒自らが「朝食を食べることの重要性」を意識できるよう、さらに取組を進めていく。  
○テレビゲームやスマートフォンを使ったゲームに時間を費やす割合を減少させができるよう、取組を検討、実施していかなければならない。

# ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

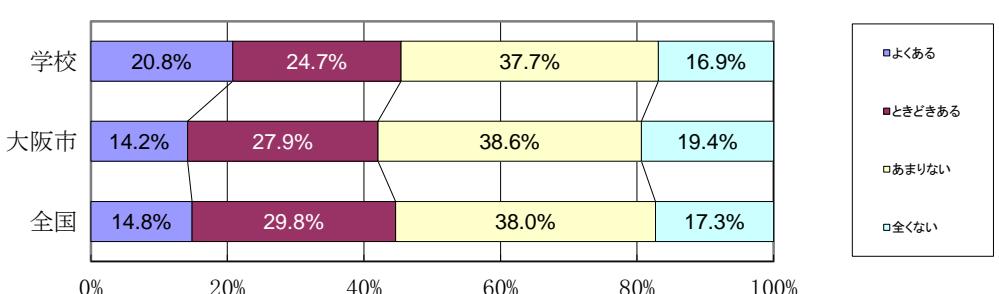
8

朝食は毎日食べますか  
(学校が休みの日も含める)



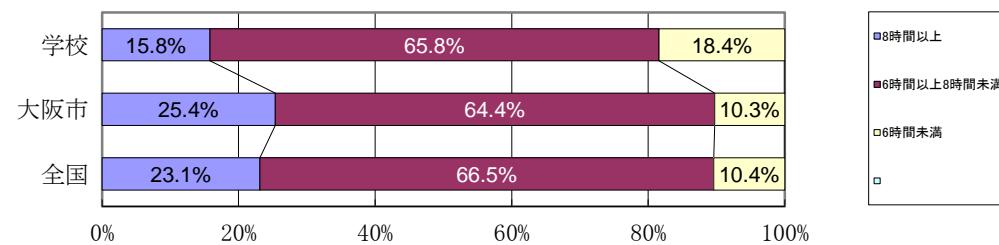
15

家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことを勧められることがありますか



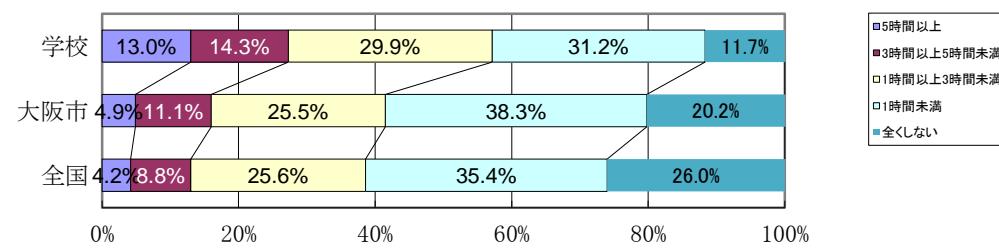
10

毎日どのくらい寝ていますか。



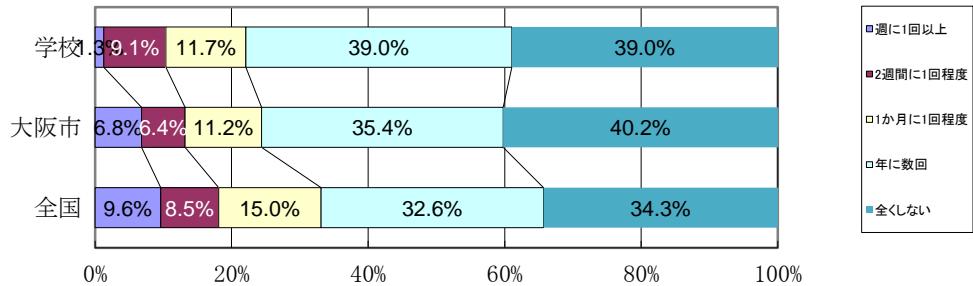
14

ふだんの平日(月一金曜日)について聞きま  
す。1日にどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間を除く)



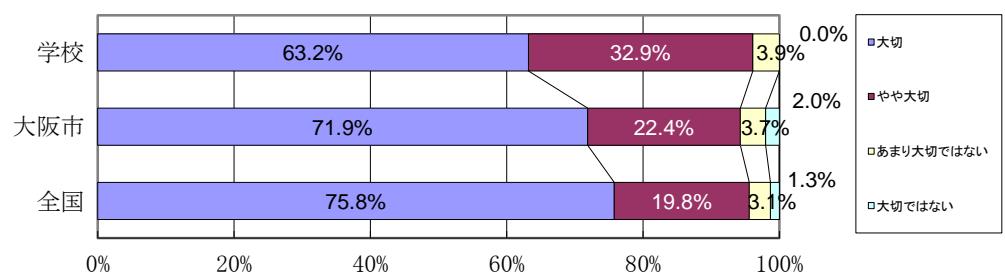
16

家人の人といっしょに、運動やスポーツをどのくらいしますか。



19-1

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



### 成果と課題

○家人の人から運動やスポーツを積極的に行うことを勧められることが「よくある」と答えた生徒が20.8%と全国平均を6.0%上回り、保護者の意識は全国に比べて高いことがうかがわれる。しかし、健康でいるために「運動は大切」と答えた生徒が63.2%と全国平均を12.6%、家人の人といっしょに、運動やスポーツを「1週間に1回以上する」と答えた生徒が1.3%と全国平均を8.3%下回り、生徒と保護者の健康に対する意識の低さが課題としてあげられる。また、携帯電話やスマートフォンでメールやインターネットを「5時間以上」すると答えた生徒が13.0%と全国平均を8.8%上回り、男子よりもさらに携帯電話やスマートフォンに時間を費やす生徒が多いことが課題としてあげられる。

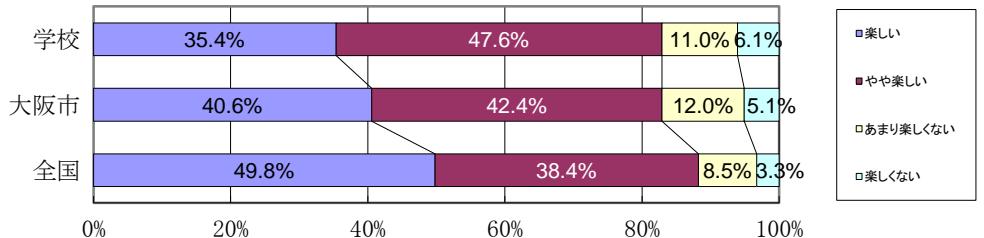
### 今後の取組

○生徒会活動を中心に生徒自らが「朝食を食べることの重要性」を意識できるよう、さらに取組を進めていく。  
 ○携帯電話やスマートフォンに費やす時間を減少させることができるように、取組を検討、実施していくかなければならない。

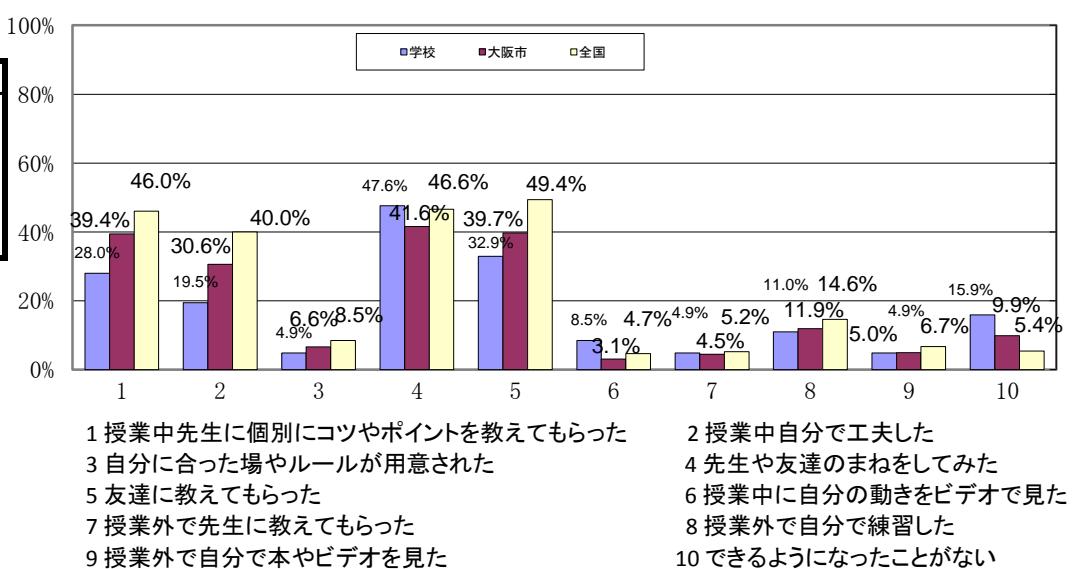
## 保健体育の授業について（男子）

## 質問事項

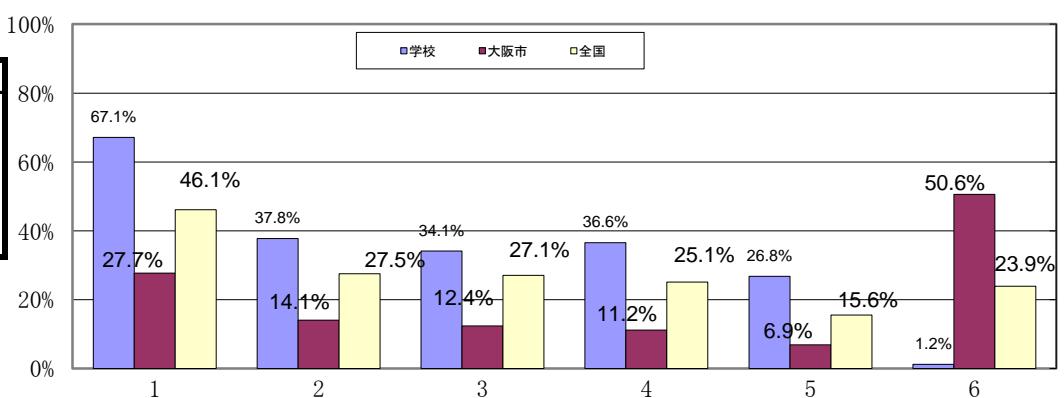
20



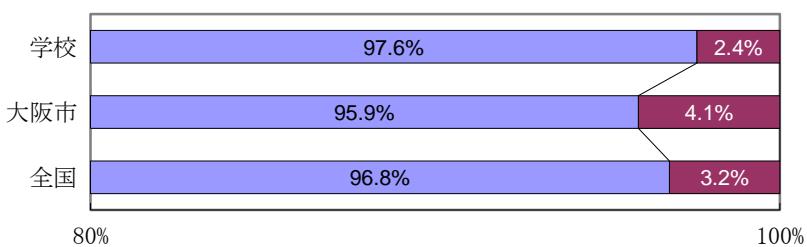
26

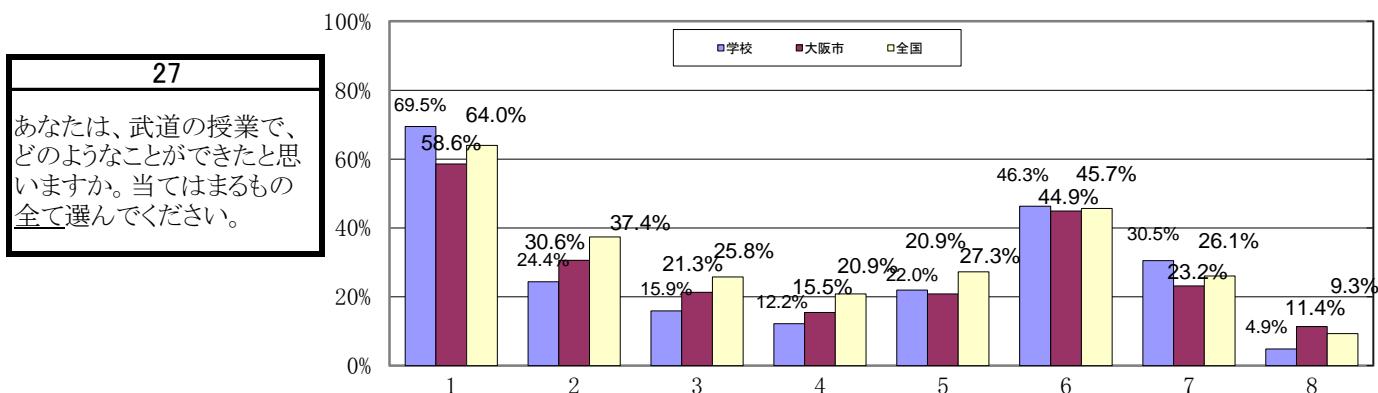


28

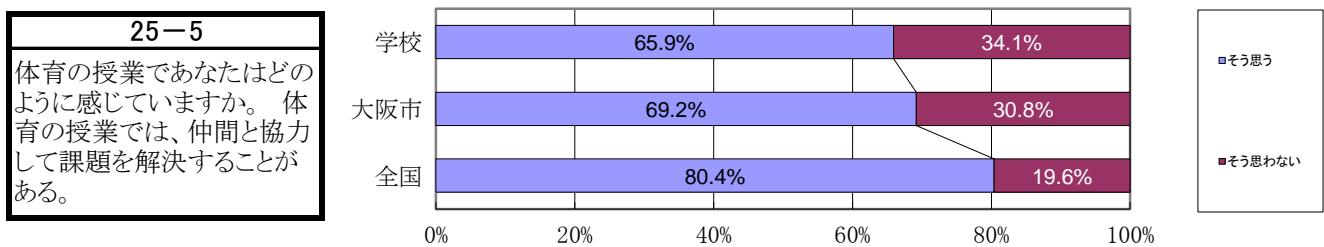
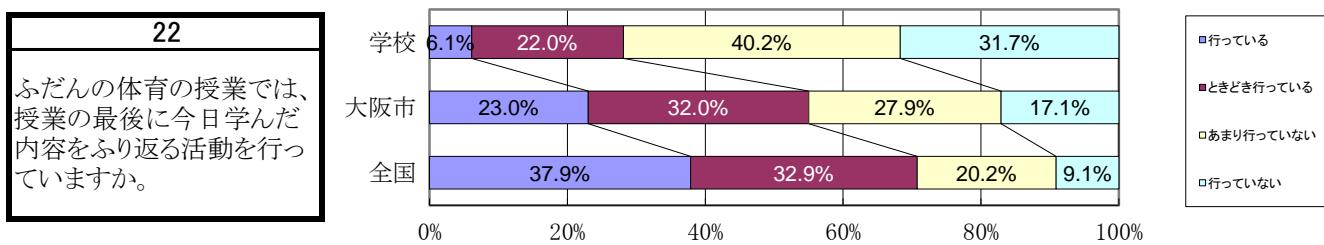


## 25-3





- 1 基本となる技を身に付けること 2 技ができる楽しさを味わうこと  
 3 武道に積極的に取り組むこと 4 武道の伝統的な考え方を理解すること  
 5 相手を尊重すること 6 礼儀・作法など伝統的な行動の仕方を守ること  
 7 自己や仲間の安全に留意すること 8 入学してからまだ行っていない



### 成果と課題

○ダンスの授業で、1~5の項目において全国平均を大きく上回り、特に「みんなで踊る楽しさを味わうことができた」と答えた生徒が67.1%と全国平均を21.0%上回った。この3年間、健康・体力の保持増進を目指しプロのダンス指導者を講師に招いての保健体育科の授業に取り組んできた成果がうかがえる。また、武道の授業で「基本となる技を身につけることができた」と答えた生徒が69.5%と全国平均を5.5%上回り、基本技能の習得に取り組んだ成果が表れている。しかし、保健体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と答えた生徒が83.0%と全国平均を5.2%下回った。また、授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を「行っている」「ときどき行っている」と答えた生徒が28.1%と全国平均を42.7%下回り、「できなかったことができるようになった」と答える生徒の全国平均に比べて低いため、体育の授業を楽しく、自らが授業を振り返り次に向かう意識を高めること、「できるようになった」という達成感を味わうことで喜びを感じる生徒を増やすことが今後の課題である。

### 今後の取組

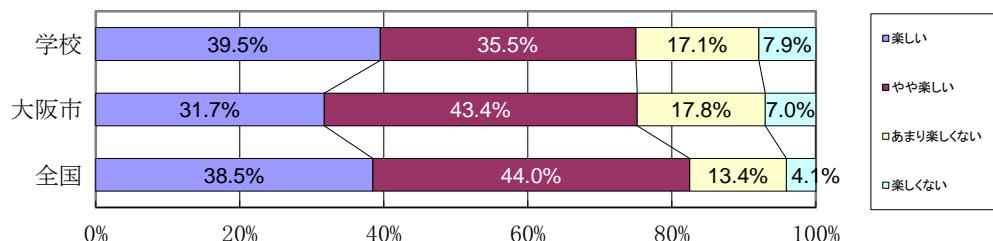
○授業を楽しいと思えるように、体ほぐし運動から基礎体力向上に向けた補強運動や授業内容・進め方を工夫し、生徒の興味・関心を高める授業展開を図る。  
 ○「できなかったことができるようになった」という達成感を味わうことができるよう、授業中により多くの良い見本を示しながら個別のコツやポイントを教え、生徒自らが考え、工夫して行くことができる授業を工夫していく。

## 保健体育の授業について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

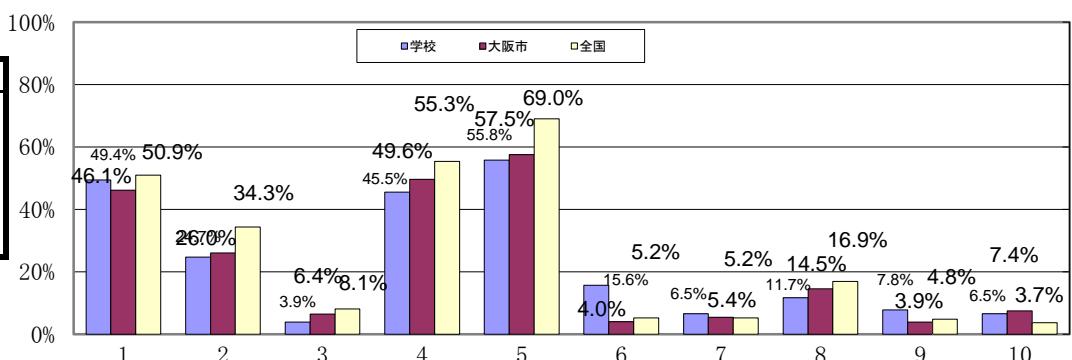
**20**

保健体育の授業は楽しいですか



**26**

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか

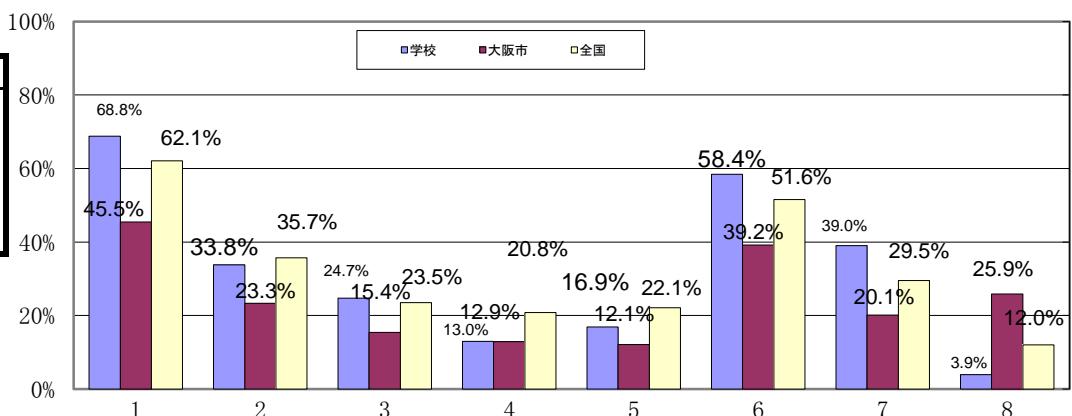


- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった  
 3 自分に合った場やルールが用意された  
 5 友達に教えてもらった  
 7 授業外で先生に教えてもらった  
 9 授業外で自分で本やビデオを見た

- 2 授業中自分で工夫した  
 4 先生や友達のまねをしてみた  
 6 授業中に自分の動きをビデオで見た  
 8 授業外で自分で練習した  
 10 できるようになったことがない

**27**

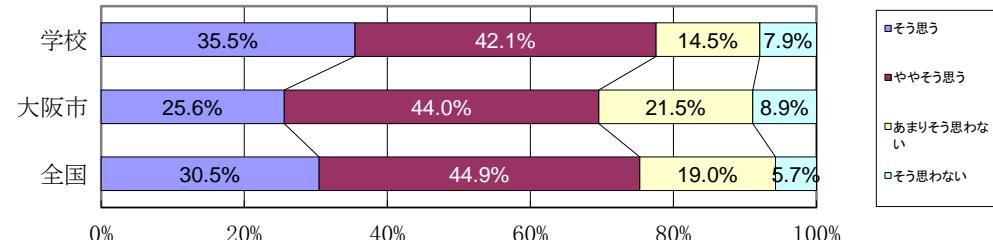
あなたは、武道の授業で、どのようなことができたと思いますか。当てはまるもの全て選んでください。

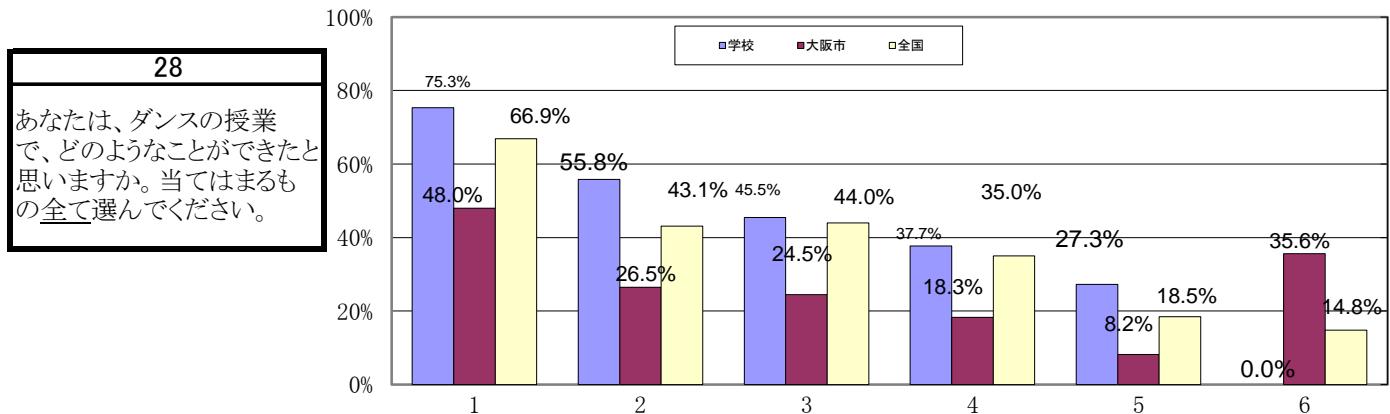


1. 基本となる技を身に付けること  
 2. 技ができる楽しさを味わうこと  
 3. 武道に積極的に取り組むこと  
 4. 武道の伝統的な考え方を理解すること  
 5. 相手を尊重すること  
 6. 礼儀・作法など伝統的な行動の仕方を守ること  
 7. 自己や仲間の安全に留意すること  
 8. 入学してからまだ行っていない

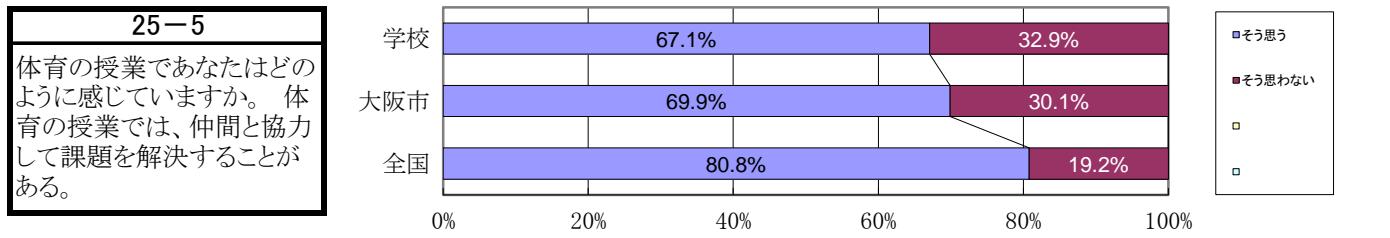
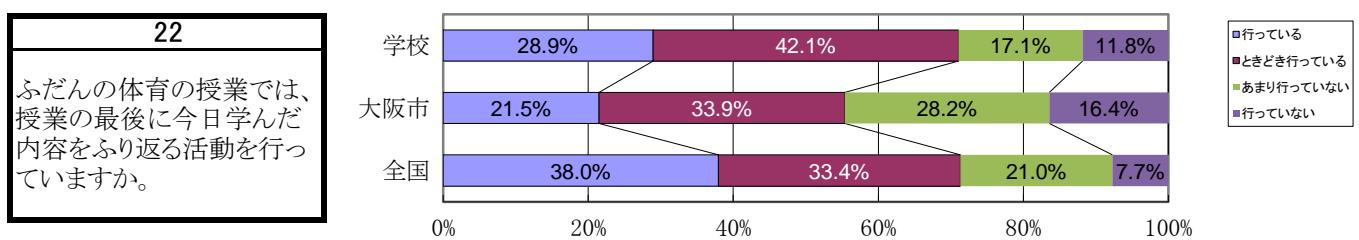
**29**

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。





- 1 みんなで踊る楽しさを味わうこと 2 ダンスに積極的に取り組むこと  
 3 仲間と表現や踊りを通して交流すること 4 仲間の良さを認めること  
 5 自己や仲間の安全に留意すること 6 入学してからまだ行っていない



**成果と課題**

○ダンスの授業で、1～5の項目において全国平均を大きく上回り、特に「みんなで踊る楽しさを味わうことができた」と答えた生徒が75.3%と全国平均を8.4%上回った。この3年間、健康・体力の保持増進を目指しプロのダンス指導者を講師に招いての保健体育科の授業に取り組んできた成果がうかがえる。また、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に「役に立つと思う」「ややそう思う」と答えた生徒が77.6%と全国平均を2.2%上回った。しかし、保健体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と答えた生徒が75.0%と全国平均を7.5%下回り、体育の授業では「仲間と協力して課題を解決することができる」と答えた生徒が67.1%と全国平均を13.7%下回った。今後、体育の授業を楽しく、仲間と協力して課題を解決することができる生徒を増やすことが今後の課題である。

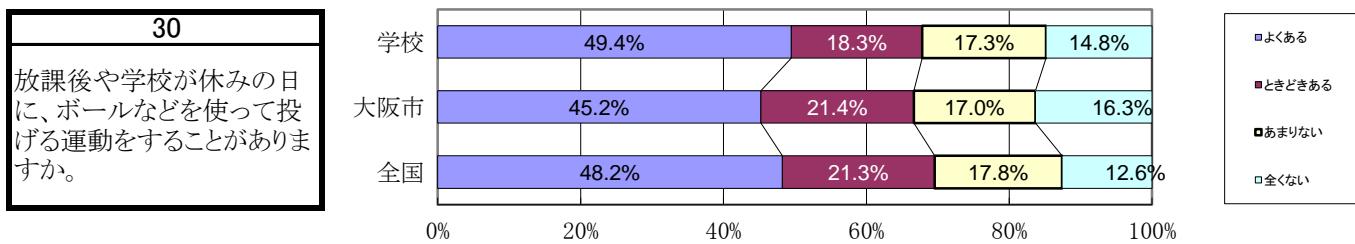
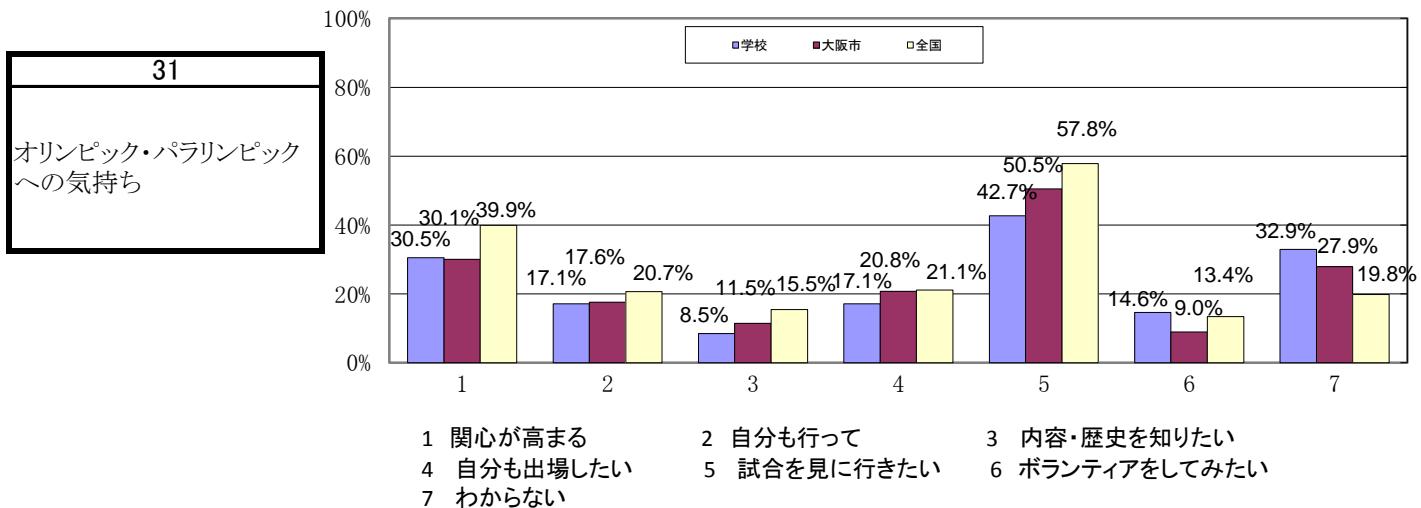
**今後の取組**

○授業を楽しい、仲間と協力して課題を解決することができたと思えるように、体ほぐし運動から基礎体力向上に向けた補強運動や授業内容・進め方を工夫し、生徒の興味・関心を高める授業展開を図る。

○「できなかったことができるようになった」という達成感を味わうことができるよう、授業中により多くの良い見本を示しながら個別のコツやポイントを教え、生徒自らが考え、工夫して行くことができる授業を工夫していく。

## その他（男子）

質問番号	質問事項
------	------



### 成果と課題

○オリンピック・パラリンピックへの気持ちにおいて、「ボランティアをしてみたい」と答えた生徒が32.9%と全国平均を13.1%上回った。本校が長年取り組んでいる地域の清掃ボランティア活動への参加の取組の成果がうかがわれる。しかし、オリンピック・パラリンピックへの気持ちにおいて、その他の項目において全国平均を下回ったため、オリンピックに対する興味・関心を高めることが課題である。

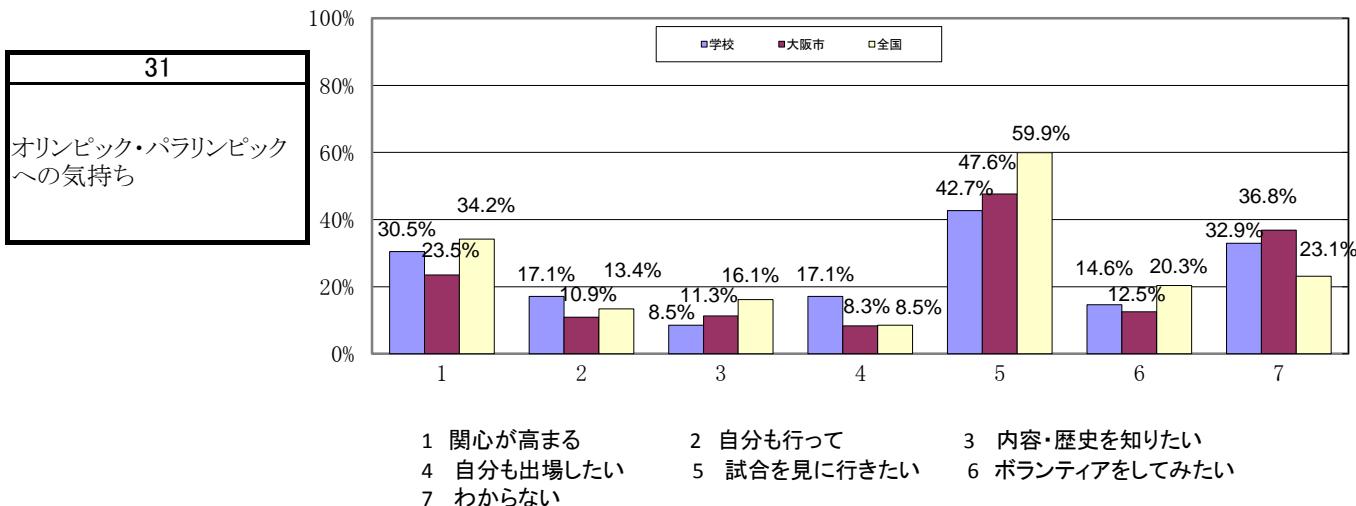
○放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げる運動をすることが「よくある」と答えた生徒が49.4%と全国平均を1.2%上回った。

### 今後の取組

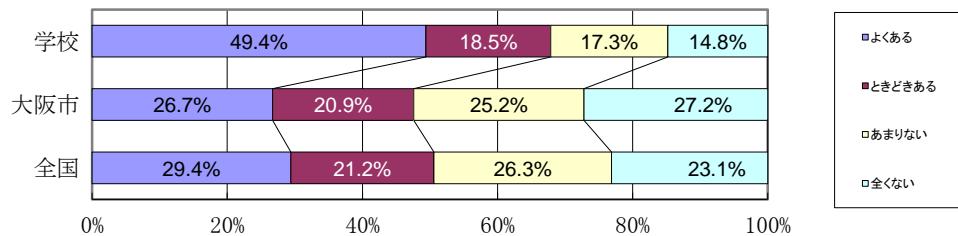
○自分がオリンピックに出場したい、試合を見に行きたいという意識が低いため、トップアスリートを招いての体験授業を継続して行い、オリンピックに対する興味・関心を高めていく。

## その他（女子）

質問番号	質問事項
------	------



30 放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げる運動をすることがありますか。



### 成果と課題

- オリンピック・パラリンピックへの気持ちにおいて、「自分も行ってみたい」と答えた生徒が17. 1%と全国平均を3. 7%上回り、「自分も出場したい」と答えた生徒が17. 1%と全国平均を8. 6%上回った。また、「試合を見に行きたい」と答えた生徒が17. 1%と全国平均を8. 6%上回った。トップアスリートを招いての体験授業の取組の成果がうかがわれる。しかし、「ボランティアをしてみたい」と答えた生徒が42. 7%と全国平均を17. 2%下回ったため、ボランティアに積極的に参加できる意識を高めることが課題である。
- 放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げる運動をすることが「よくある」と答えた生徒が49. 4%と全国平均を20. 0%上回った。

### 今後の取組

- トップアスリートを招いての体験授業を継続して行い、オリンピックに対する興味・関心を高めていく。